

令和4年度足立区学童クラブ待機児童対策計画

令和3年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

154人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

地区によって、マンション等の大規模開発に伴い、学齢人口が増えることに加え、学童クラブの申請率も上昇することにより待機児童が発生している。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

「足立区学童保育室整備計画」を策定し、需要予測等を基に需要が多い地域を優先的に学童保育室の整備を進めていく。

(2) 具体策

「足立区学童保育室整備計画」により、区内を33地区に分け、地区ごとに毎年度の申請状況や学齢人口などを基に分析を行ったうえで需要を予測する。予測結果により、需要数が多い地区については、民設学童保育室の誘致を中心に整備を進めていく。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

整備が必要な地域を優先的に整備することで、超過が多い地域での待機児童数の減少とともに、地区毎に発生している需要と供給のアンバランスを是正していくことで待機児童解消に寄与している。

4 これまでの推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学生児童数	31,393	31,669	31,506	31,215	30,773
増減	—	276	▲163	▲291	▲442
登録児童数	4,636	4,708	4,750	4,741	4,841
増減	—	72	42	▲9	100
待機児童数	277	285	354	300	154
増減	—	8	69	▲54	▲146

5 今後の見込

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計	
小学生児童数	30610	30323	29964		
増減	-163	-287	-359		
登録児童数	4994	5238	5398		
増減	153	244	160		
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)	舎人・入谷地区に民設学童保育室を新設	千住西、桜木・河原町、中川、加平地区の計4地区に民設学童保育室を新設	西綾瀬・足立、青井、梅島、梅田、関原地区の計5地区に民設学童保育室を新設		
待機児童数	244	59	0		
増減	90	▲185	▲59		
					▲154